

事業企画書

団体名	あんよ・せらびー共育研究会		
事業名	ひろさきアフタースクール ～「地域の力を取り込んだ放課後づくり」プロジェクト～ ※ 新規 ・ 継続 (同じ事業での申請 2 回目)		
事業実施 予定の期間	平成 26年 7月 1日 ~ 平成 27年 3月 25日		
事業実施 予定の場所	弘前市中央公民館・岩木館 郊外(石川、相馬、大鰐、弘前大学)	参加予定の 人数	465人 (うち構成員数 120人)

○今回申請する事業についてお書きください。

<p>この事業を始めることになったきっかけや、事業実施の目的は何ですか。</p> <p>【審査の視点：必要性】</p>	<p>(きっかけ)</p> <p>昨年度、子ども達の「放課後」にスポットをあて、「放課後」の大切さについて『放課後教育』の先駆者である、「放課後NPOアフタースクール」の事務局に講演依頼をし、「放課後」に関わる人材を育成してまいりました。今年度は「子育てを支援する」ことは「地域で『放課後』を支える」ということの意義を実践していく年にしたいと思ったからです。</p> <p>(目的)</p> <p>子どもたちが安全・安心でこころ豊かな『放課後』を過ごすことができるならば、学校教育との相乗効果も生まれ、それが子どもたちの未来の支援へつながると考え、少しでも『放課後』をコーディネートしていけたらという試みです。</p>
<p>この事業は、どのような人のために、どのような内容・方法で実施しますか。</p> <p>【審査の視点：公益性、実現性】</p>	<p>(対象となる人)</p> <p>弘前市内の小学生を対象にした企画です。週末の土または日の時間と、比較的授業の早く終了する水曜日の企画です。</p> <p>(内容・方法)</p> <p>この度は、岩木館を中心に地域の方々に「放課後」の大切さをご理解いただきながら、昨年度の「子どもの夢を育むプログラム」に加え、人材育成でご賛同いただいた、弘前市民の方々をコーディネートしながら、プログラムを構成してまいります。</p> <p>※各プログラムの詳細は別紙</p> <p>※事業名の欄で「継続」と回答した団体のみお書きください。</p> <p>(新たな内容や改善点など、前回との違い)</p> <p>昨年は、『放課後』の重要性をご理解いただくための一歩として、「市民先生養成講座」という企画で、『放課後』教育を理解して下さる方々を育成してまいりました。この度は、これまで関わっていただいた方々に市民先生として開講していただいたり、安心・安全な見守りに参加していただいたり、地域の『放課後』をコーディネートしていく事業です。</p> <p>特に、今年度はモデル的に、公民館である岩木館、地域住民との共催として相馬・昴地域をコーディネートし、さらに市内の子どもたちに「夢をはぐくむプログラム」をおとどけしていく内容です。</p>

○実施スケジュールについてお書きください。【審査の視点：実現性】
 (準備作業から事業終了後の報告まで、できるだけ具体的にお願いします。)

日程(月日)	実施内容	場所	時間	参加者数等
① 7月23日	第1回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名
② 8月	夏休みに地域の方と触れ合う	相馬地区	9時～15時	20名
③ 8月	〃	相馬地区	9時～15時	20名
④ 8月27日	第2回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名
⑤ 9月24日	第3回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名
⑥ 10月5日	お野菜クレヨンができるまで	りんご公園 kimori	9時～13時	30名
⑦ 10月22日	第4回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名
⑧ 10月25日	弘大祭へ行こう	弘前大学	10時～15時	30名
⑨ 11月26日	第5回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名
⑩ 11月30日	大鰐もやし見学(弘南電車で)	大鰐	9時～13時	30名
⑪ 12月24日	クリスマス会(3団体)	岩木館	9時～13時	100名
⑫ 12月24日	第6回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名
⑬ 1月	冬休みに地域の方と触れ合う	相馬	9時～15時	25名
⑭ 1月	〃	相馬	9時～15時	25名
⑮ 1月28日	第7回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名
⑯ 2月15日	津軽当物駄菓子を作ろう	岩木館	9時～13時	25名
⑰ 2月25日	第8回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名
⑱ 3月8日	運動不足解消方法(運動)	岩木館	9時～13時	30名
⑲ 3月25日	第9回英会話学習	岩木館	15時～18時	15名

○申請する事業の実施効果についてお書きください。【審査の視点：公益性】

<p>この事業を実施することによって、市民や地域に対してどのような効果が期待できますか。</p>	<p>まず、モデル的に中央公民館岩木館で「ひろさきアフタースクール」を行うことにより、『放課後』の大切さを認知していただきたいと思っています。また、「ひろさきアフタースクール」を共催して、地域で行いたいという相馬地区にも「子どもの夢を育むプログラム」をコーディネートし、その事業を開催することで、少しでも『放課後』の時間の大切さを地域の方々に考えていただきながら、子どもたちには「時間」を楽しんでいただきたいと思っています。また、昨年度、「市民先生養成講座」に参加くださったみなさんとともに、市内の子どもたちにも、地域で行われている「文化」を体験させるプログラムを構成し、安全で安心な『放課後』を、地域の市民先生のみなさんとともに作りあげていこうと考えております。</p>
--	--

○来年度以降の事業の展開についてお書きください。【審査の視点：将来性】

<p>来年度以降のこの事業を、どのように継続・展開させていく予定ですか。</p>	<p>来年度は、1校でも、1日でも、モデル的に、学校の中に、市民のみなさまの見守りの中、「ひろさきアフタースクール」を開校できるように、また、多くの市民のみなさまや子どもたちの出会いが素晴らしいものになるようなプログラムを提供していけたらと願っております。</p> <p>また、「子どもの夢を育むプログラム」を多くの子どもたちに提供できるように、多くの市民のみなさまと手をつなぐことのできるようにしてまいりたいと思っております。</p>
--	--

○来年度以降の財源についてお書きください。

<p>来年度以降も、補助金申請を要望しますか。</p>	<p>(<input checked="" type="checkbox"/> 要望する ・ <input type="checkbox"/> 要望しない)</p> <p>└─ いつまでをお考えですか。平成 (28) 年まで</p> <p>※当補助金は単年度申込み補助制度ですので、今年度採択された場合でも来年度の申請が必要です。</p>
-----------------------------	---

○他の補助制度の活用についてお書きください。

<p>今回申請した事業について、ほかに活用する補助制度はありますか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (補助制度の名称：)</p>
--	---

○保険についてお書きください。

<p>事業を実施する際、保険へ加入する予定ですか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 加入しない ・ <input checked="" type="checkbox"/> 加入する (保険の名称： 障害保険)</p>
-------------------------------	---

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 2 用紙が不足する項目は、別紙としてください。

ひろさきアフタースクール 事業企画書

[提出日] 平成 26 年 5 月 13 日

《事業詳細》

事業名	ひろさきアフタースクール			団体名	あんよせらびー共育研究会		
使用月日	平成 26 年 7 月 23 日 ~ 平成 27 年 3 月 25 日						
会場使用時間	午前・午後 14 時 00 分 ~ 午前・午後 18 時 00 分						
イベント開催時間	午前・午後 15 時 00 分 ~ 午前・午後 18 時 00 分						
利用場所	岩木館	1F大和室					
イベント参加人数	15 人 (内 参加者 10 人、スタッフ 5 人)						
趣旨 (目的)	ひろさきアフタースクールの「毎月末の水曜日市民先生プログラム」・・・多世代で子どもたちを見守ることで、子どもとのコミュニケーションが深まり、子どもの自己肯定感も芽生え、努力する気持ちやさらに達成感なども味わってもらいたい。						
対象	岩木地区の児童						
事業概要	市民先生として、須田先生をお招きし、「英語会話」に慣れ親しんでいただくという企画。						
タイムスケジュール	時間	内 容	備 考				
	14:00	会場設営開始	スタッフ集合時間				
	15:00	参加者目標集合時間	参加者 宿題・ひと勉・自由				
		英会話開始					
		参加者自由時間	参加者 宿題・ひと勉・自由				
	18:00	終了					
参加料の有無	あり ・ なし →			1人		円	
	(ありの場合)			1組			
必要経費 (見積)	項 目	金 額	内 訳 詳 細				
	講師謝金	45,000	5000×9				
	講師交通費	4,500	500×9				
	材料費	7,180	基本英会話教材8冊				
	スタッフ交通費						
	チラシ印刷製本費	5,400	600円×9回				
	保険料	9,000	1000円×9回				
	支出合計	71,080					
備考 (その他)							

ひろさきアフタースクール 事業企画書

[提出日] 平成 26 年 5 月 13 日

《事業詳細》

事業名	ひろさきアフタースクール		団体名	あんよせらびー共育研究会	
使用月日	平成 26 年 8 月 日 ~ 平成 27 年 1 月 日				
会場使用時間	午前・午後 9 時 00 分 ~ 午前・午後 13 時 00 分				
イベント開催時間	午前・午後 10 時 00 分 ~ 午前・午後 12 時 00 分				
利用場所	相馬昂地区				
イベント参加人数	20 人 (内 参加者 15 人、スタッフ 5 人)				
趣旨 (目的)	ひろさきアフタースクールの「子どもの夢を育む体験プログラム」・・・地域の大人と何かを体験することで、子どもとのコミュニケーションが深まり、子どもの自己肯定感も芽生え、努力する気持ちやさらに達成感なども味わってもらいたい。				
対象	相馬地区の児童				
事業概要	夏休み、冬休みに2回ずつ、計4回、「子どもの夢を育むプログラム」を相馬昂地区にお届けする企画。2回台湾茶、1回英語、1回陶芸の企画。地元の方々との共催で行う企画の中にいれていく。				
タイムスケジュール	時間	内容	備考		
	9:00	会場設営開始	スタッフ集合時間		
	9:45	参加者受付開始	スタッフ2名対応		
	10:00	講師紹介、開始			
	11:30	ワークショップ			
	12:00	イベント終了、後片付け開始			
	13:00	解散			
参加料の有無	あり ・ なし		→	1人	円
必要経費 (見積)	項目	金額	内訳詳細		
	講師謝金	20,000	5000×4名分		
	講師交通費 (宿)	6,500	市外2000×3、市内500		
	材料費	10,000	お茶2500×2、粘土5000 ※英語教材は岩木の事業で購入したものを使用		
	チラシ印刷製本費	1,200			
	保険料	4,000	1000円×4回		
	支出合計	41,700			
備考 (その他)	日程は、未定だが、夏休み8月10日前後、冬休み1月10日前後の企画。				

ひろさきアフタースクール 事業企画書

[提出日] 平成 26 年 5 月 13 日

《事業詳細》

事業名	ひろさきアフタースクール		団体名	あんよせらびー共育研究会	
使用月日	平成 26 年 10 月 5 日 ~ 平成 27 年 10 月 5 日				
会場使用時間	午前・午後 9 時 00 分 ~ 午前・午後 13 時 00 分				
イベント開催時間	午前・午後 10 時 00 分 ~ 午前・午後 12 時 00 分				
利用場所	りんご公園	kimori			
イベント参加人数	30 人（内 参加者 20 人、スタッフ 10 人）				
趣旨（目的）	ひろさきアフタースクールの「子どもの夢を育む体験プログラム」・・・親子で何かを体験したり、講演を聴くことで、子どもとのコミュニケーションが深まり、子どもたちが自己肯定感が芽生え、努力する気持ちやさらに達成感なども子どもたちに味わってもらいたい。				
対象	市内の児童				
事業概要	「おやさいクレヨンができるまで」という演目で「おやさいクレヨン」開発者の木村様のご講演と簡単なワークショップを行う。				
タイムスケジュール	時 間	内 容	備 考		
	9:00	会場設営開始	スタッフ集合時間		
	9:45	参加者受付開始	スタッフ2名対応		
	10:00	講師紹介、開始			
	11:30	講演、ワークショップ	各テーブルにスタッフ配置		
	12:00	イベント終了、後片付け開始			
	13:00	解散			
参加料の有無	あり ・ なし		→	1人	円
			(ありの場合)	1組	
必要経費（見積）	項 目	金 額	内 訳 詳 細		
	講師謝金	5,000			
	講師交通費	2,000			
	材料費	43,200	野菜クレヨン20組（2160円）		
	チラシ印刷製本費	6,370	8500枚（弘前市内の全児童分）		
	保険料	1,000			
	kimori（場所代）	4,000	1時間1000円		
	支出合計	61,570			
備考（その他）					

ひろさきアフタースクール 事業企画書

[提出日] 平成 26 年 5 月 13 日

《事業詳細》

事業名	ひろさきアフタースクール 団体名 あんよせらびー共育研究会		
使用月日	平成 26 年 10 月 25 日 ~ 平成 26 年 10 月 25 日		
会場使用時間	午前・午後 9 時 00 分 ~ 午前・午後 15 時 00 分		
イベント開催時間	午前・午後 10 時 00 分 ~ 午前・午後 15 時 00 分		
利用場所	弘前大学内 文化祭見学会		
イベント参加人数	30 人 (内 参加者 25 人、スタッフ 5 人)		
趣旨 (目的)	ひろさきアフタースクールの「子どもの夢を育む体験プログラム」・・・親子で何かを体験したり、講演を聴くことで、子どもとのコミュニケーションが深まり、子どもの自己肯定感も芽生え、努力する気持ちやさらに達成感なども味わってもらいたい。		
対象	市内の児童		
事業概要	「弘大祭」を見学体験する企画。大学生のボランティアといっしょに各ブースをまわる。中で食事もしていただく。親子で参加でも、子どもだけでも良いが、現地集合、現地解散できるかたを募集する。		
タイムスケジュール	時間	内 容	備 考
	9:00	会場設営開始	スタッフ集合時間
	9:45	参加者受付開始	スタッフ2名対応
	10:00	イベント、各ブースをまわる	
	14:30	集合、解散	感想を書く
参加料の有無	あり ・ なし → 1人 円 (ありの場合) 1組		
必要経費 (見積)	項 目	金 額	内 訳 詳 細
	講師謝金	0	
	講師交通費 (宿)	0	
	材料費	0	
	チラシ印刷製本費	6,370	8500枚 (弘前市内の全児童分)
	保険料	1,000	
	支出合計	7,370	
備考 (その他)	弘前大学生のボランティアの育成		

ひろさきアフタースクール 事業企画書

[提出日] 平成 26 年 5 月 13 日

《事業詳細》

事業名	ひろさきアフタースクール	団体名	あんよせらびー共育研究会
使用月日	平成 26 年 11 月 30 日 ~ 平成 26 年 11 月 30 日		
会場使用時間	午前・午後 9 時 00 分 ~ 午前・午後 13 時 00 分		
イベント開催時間	午前・午後 10 時 00 分 ~ 午前・午後 13 時 00 分		
利用場所	大鰐		
イベント参加人数	30 人 (内 参加者 25 人、スタッフ 5 人)		
趣旨 (目的)	ひろさきアフタースクールの「子どもの夢を育む体験プログラム」・・・親子で何かを体験したり、講演を聴くことで、子どもとのコミュニケーションが深まり、子どもの自己肯定感も芽生え、努力する気持ちやさらに達成感なども味わってもらいたい。		
対象	市内の児童		
事業概要	「大鰐」へ弘南電車ででかけ、「大鰐もやし」の農場見学。「わにかム」でくつろいだあと、電車で中央弘前まで乗っていく企画。		
タイムスケジュール	時間	内容	備考
	8:50	会場設営開始	スタッフ集合時間
	9:00	参加者受付開始	スタッフ2名対応
	9:30	電車に乗る～大鰐着	
	10:20	大鰐もやし工場見学	
	11:30	ワニカム 自由時間	
	12:30	電車に乗る～中央弘前着	解散
参加料の有無	あり ・ なし → 1人 円 (ありの場合) 1組		
必要経費 (見積)	項目	金額	内訳詳細
	講師謝金	5,000	もやし工場スタッフへ
	講師交通費 (宿)		
	材料費		
	チラシ印刷製本費	6,370	8500枚 (弘前市内の全児童分)
	保険料	1,000	
	支出合計	12,370	
備考 (その他)	弘南鉄道大鰐線の中央弘前駅集合、現地解散 (電車代金は、本人負担)		

ひろさきアフタースクール 事業企画書

[提出日] 平成 26 年 5 月 13 日

《事業詳細》

事業名	ひろさきアフタースクール		団体名	あんよせらびー共育研究会	
使用月日	平成 26 年 12 月 24 日 ~ 平成 26 年 12 月 24 日				
会場使用時間	午前・午後 9 時 00 分 ~ 午前・午後 13 時 00 分				
イベント開催時間	午前・午後 10 時 00 分 ~ 午前・午後 12 時 00 分				
利用場所	岩木館	太ホール			
イベント参加人数	100 人 (内 参加者 90 人、スタッフ 10 人)				
趣旨 (目的)	ひろさきアフタースクールの「子どもの夢を育む体験プログラム」・・・弘前大学生の演技を観ることで、楽しい一日をすごしていただく。				
対象	市内の児童				
事業概要	弘前大学のサークル3つの公演。(予定：人形劇、音楽など)				
タイムスケジュール	時間	内容	備考		
	9:00	会場設営開始	スタッフ集合時間		
	9:45	受付開始	スタッフ2名対応		
	10:00	開始			
	12:00	イベント終了、後片付け開始			
	13:00	解散			
参加料の有無	あり ・ なし		→	1人	円
必要経費 (見積)	項目	金額	内訳詳細		
	講師謝金	15,000	5000×3団体を予定 人形劇は決定、残り2つ未定		
	講師交通費 (宿)				
	材料費				
	チラシ印刷製本費	6,370	8500枚 (弘前市内の全児童分)		
	保険料	1,000			
	支出合計	22,370			
備考 (その他)					

ひろさきアフタースクール 事業企画書

[提出日] 平成 26 年 5 月 13 日

《事業詳細》

事業名	ひろさきアフタースクール	団体名	あんよせらびー共育研究会
使用月日	平成 27 年 2 月 15 日 ~ 平成 27 年 2 月 15 日		
会場使用時間	午前・午後 9 時 00 分 ~ 午前・午後 13 時 00 分		
イベント開催時間	午前・午後 10 時 00 分 ~ 午前・午後 12 時 00 分		
利用場所	岩木館	調理室	
イベント参加人数	25 人 (内 参加者 20 人、スタッフ 5 人)		
趣旨 (目的)	ひろさきアフタースクールの「子どもの夢を育む体験プログラム」・・・親子で何かを体験したり、講演を聴くことで、子どもとのコミュニケーションが深まり、子どもの自己肯定感も芽生え、努力する気持ちやさらに達成感なども味わってもらいたい。		
対象	市内の児童		
事業概要	佐藤製菓さんの「津軽当物駄菓子」大王をつくる企画。津軽のお正月のイベントに触れる。		
タイムスケジュール	時間	内容	備考
	9:00	会場設営開始	スタッフ集合時間
	9:45	参加者受付開始	スタッフ2名対応
	10:00	講師紹介、開始	
			各テーブルにスタッフ配置
	12:00	イベント終了、後片付け開始	
	13:00	解散	
参加料の有無	あり ・ なし → 1人 (ありの場合) 1組		円
必要経費 (見積)	項目	金額	内訳詳細
	講師謝金	5,000	
	講師交通費 (宿)	500	
	材料費	8,000	
	チラシ印刷製本費	6,370	8500枚 (弘前市内の全児童分)
	保険料	1,000	
	調理室	3,160	4時間
	支出合計	24,030	
備考 (その他)			

ひろさきアフタースクール 事業企画書

[提出日] 平成 26 年 5 月 13 日

《事業詳細》

事業名	ひろさきアフタースクール		団体名	あんよせらびー共育研究会	
使用月日	平成 27 年 3 月 8 日 ~ 平成 27 年 3 月 8 日				
会場使用時間	午前・午後 9 時 00 分 ~ 午前・午後 13 時 00 分				
イベント開催時間	午前・午後 10 時 00 分 ~ 午前・午後 12 時 00 分				
利用場所	— 岩本館 —		— 大ホール —		
イベント参加人数	30 人（内 参加者 25 人、スタッフ 5 人）				
趣旨（目的）	ひろさきアフタースクールの「子どもの夢を育む体験プログラム」・・・冬の運動不足を解消のため、簡単な運動を体験する。努力する気持ちやさらに達成感なども味わってほしい。				
対象	市内の児童				
事業概要	「帰宅部」で運動不足解消方法をゲットしていく企画。自分の家でもできるような、簡単な運動方法を覚えていく。				
タイムスケジュール	時間	内容			備考
	9:00	会場設営開始			スタッフ集合時間
	9:45	参加者受付開始			スタッフ2名対応
	10:00	講師紹介、開始			
	12:00	イベント終了、後片付け開始			
	13:00	解散			
参加料の有無	あり ・ なし		→	1人	円
必要経費（見積）	項目	金額	内訳詳細		
	講師謝金	5,000			
	講師交通費（宿）	500			
	チラシ印刷製本費	6,370	8500枚（弘前市内の全児童分）		
	大ホール使用料	7,560			
	保険料	1,000			
	支出合計	20,430			
備考（その他）	運動部入部者以外のひとを募集する。				

収支予算書

【審査の視点：費用の妥当性】

1 収入

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要
市民参加型まちづくり1%システム支援補助金	245000	245,000	
参加費			
協賛金			
団体会費	32290		
収入合計	277290		※支出の合計と同額

2 支出

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要
講師等謝礼	100000	100,000	
交通費	14000	14,000	
消耗品費及び原材料費	70180	65,180	うち5,000円補助対象外
食糧費			
燃料費			
印刷製本費	51190	51,190	
通信運搬費	8200	8,200	
保険料	19000	19,000	
使用料及び賃借料	14720	14,720	
その他経費			
支出合計	277290	272,290	

補助金の額の算定根拠	① (補助対象経費) × (補助率0.9) ÷ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て $272290 \times 0.9 = 245061 \Rightarrow 245000$
	② (支出総額) - (参加費・協賛金等の収入) ÷ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て
	① ②のいずれか少ない額 (補助金申請額) <u>245000</u> 円 (原則50万円を限度)

3 支出内訳書

(NO. 1)
(単位：円)

項目	品名	数量	単価	金額	採択金額	摘要
講師等謝礼	岩木地区英会話講師謝礼	9組	5000	45000	45,000	
	相馬地区の講師謝礼	4組	5000	20000	20,000	
	市内全体の講師謝礼	7組	5000	35000	35,000	
交通費	500 (市内)	12人分	500	6000	6,000	
	2000 (市外)	4人分	2000	8000	8,000	クレヨン・陶芸 ・お茶2回
消耗品費及び 原材料費	英語教材	8冊	897.5	7180	7,180	
	お茶	2回分	2500	5000	0	補助対象外
	粘土	1回分	5000	5000	5,000	
	野菜クレヨン	20人分	2160	43200	43,200	
	駄菓子用材料費	20人分	400	8000	8,000	
	封筒等文具類	一式		1800	1,800	
印刷製本費	チラシ (岩木地区英会話用)	9回 (4500枚)	600	5400	5,400	500枚×9回 (岩木地区児童 に配布)
	チラシ (相馬地区長期 休暇プログラム用)	4回 (1000枚)	300	1200	1,200	250枚×4回 (相馬地区児童 に配布)
	チラシ (市内児童向け プログラム用)	7回 (59500枚)	6370	44590	44,590	8500枚×7回 (市内児童に配布)
通信運搬費	お礼状等用切手	100枚	82	8200	8,200	
保険料	傷害保険	19回分	1000	19000	19,000	
使用料及び 賃借料	kimori 使用料	4時間	1000	4000	4,000	10/5 おやさいクレヨン
	岩木調理室使用料	4時間	790	3160	3,160	2/15 津軽の駄菓子
	岩木大ホール使用料	4時間	1890	7560	7,560	3/8 運動不足解消
合計				277290	272,290	